是草名ハ鷹のうちよりて或山林草ニ分ちて夜かいけん
架ハ鈴りん鷹緒おちて八寸なり一丈或りさしてあのまで
真鷹の大緒ハ五尺八寸也但ぬハ三尺八寸ぞ或く
架まるぎ汇すからんどもいに鷹とも一丈或りかんほどうとき
刀鷹切ふをの文字ハ大はかたぎます鷹緒を書と心得也
身鷹ハとまふをとますふ七尺さり文ハ天神七代をぞ知れ
小だき利のめり又常ハ見鷹緒又ハ地神の五代をぞ知れ
小頭を三四ほど緒ハ鶴ハ三世をもまなぶとの心得也